

宇治情報

No.109

(体験集通算 459号)

宝蔵

二〇二四年(令和六年)の新年をむかえて

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹

新年明けましておめでとうございます。

宝蔵会の皆様におかれましては、日頃より孟蘭盆供養大祭や新年祭など、生長の家宇治別格本山の諸行事にご協力とご愛念を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。本年も昨年に引き続きよろしくお願い申し上げます。



昨年「新型コロナウイルス」による感染が終息に至らずに練成会をはじめ主要な行事は中止となりました。また元日は初春を寿ぎ宝蔵神社新年祭が執り行われますが、同ウイルスによる感染は未だ収まっておらず、残念ではあ

りませんが、昨年に引き続き新年祭は、無参列で祭典を執り行うこととなりました。ご理解ほどお願いいたします。

さて、二〇二四年(令和六年)の干支は、十二支では五番目の辰であります。また十干では一番目の甲きのえとなり、干支は甲辰きのえたつであります。

「甲」が持つ意味は一番目で優勢であることを表し、まっすぐに望々とそり立つ大木を表します。一方「辰」は十二支で唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。また、神々様は龍に乗って降りられるとも云われています。この二つの組み合わせである甲辰は、「立ち上がる」という意味があり、新たなスタートを切るときに用いられます。

本年は、「人間は神の子であ(次頁に続く)

る」との不滅の真理が多くの人々に伝わる年となりますことをご祈念申し上げます。と思います。

谷口雅春先生著『生活と人間の再建』の中に、スフィンクスの謎の話があります。ライオンの姿をし、美しい女性の顔と胸、鷲の翼を持つスフィンクスは、非常に聡明で、道行く人に謎解きを挑み、例えば「朝は四本足、昼は二本足、夜になると三本足になるものは何か」という問を浴びせ、答えられなかつたら相手を殺して食べた、といわれています。

ところが、あるとき、オイディプスという人が「それは人間だ。最初は赤ん坊ではいはいをするから4本足、成長すると2本の足で歩き、老年になると杖をついて歩くので3本足である」と答えたのです。これは正解であり、それを聞いたスフィンクスは、鎮座していた台座から海に飛び込み、死んでしまったのであります。

しかし、この解釈は人間の肉体系から見た解釈であり、人間は本来、霊的存在であるとの真理ではないのであり

ます。肉体人間から霊的人間へ見方を変えなければ真の平和は来ないのであります。

本年は、新たな価値観が芽生える、緑

随想

「大きな一歩」

練成部 課長補佐
岡田 浩二

新年あけましておめでとうございませう。今年が宝蔵会員の皆様にとつて、さらに悦びの一年となりますようお祈り申し上げます。

宇治別格本山では昨年十一月に、三年九か月ぶりの短期練成会が開催されました。コロナ禍で練成が開催されなくなつてから、「練成の再開はまだですか」と数えきれないくらい聞かれ、その度に信徒の皆様への思いを感じていました。

練成会開催の許可をいただけたときは、嬉しく思うと共に、多くの

起のよいすばらしい年となりますことを感謝し、神の子の自覚を高め、明るい生活をおくって行きたいと思えます。

方々の悦ぶ姿が浮かびました。実際に開催すると、「一日講話」では行われなかつた夜の行事、幽齋殿での神想観と講話、献労や座談会等が行われ、練成が帰ってきたことを実感しました。そんな中、印象に残つたのは練成員さん同士で声を掛け合い、助け合う姿です。私が練成に参加した時も、行事中や合間に他の参加者に声をかけてもらい、話したりする中で、楽になつたり、色々な気付きがあつたことを思い出しました。まさに練成ならではの光景で、神様、ご先祖さまの御導きのもと、皆で拌み合い、救い合い、神の子の悦びを深め、様々な感謝、決意をしていく。練成会は素晴らしいと改め



て思いました。また、多くの方からも「やっぱり練成は良いね」という声をいただきました。宇治を支えてきてくださった方々、そして宇治別格本山自体も喜んでいただるように感じます。

思えばコロナ禍という非常事態により、宇治も練成や大祭ができないという状況になりました。そんな中、ネットフォーラムや「一日講話」を始めとして、出来ることを考えて実施していききました。そのことは大きな意義があったと思います。ただ、練成が行われな

いこと、人が来ないことが、どこか当たり前になってしまっていました。そんな停滞する気持ちを打ち破ったのが練成開催だったと思います。

私は研修生のお世話をさせていただいています。神の子として思い切つて行動したことが、人生を変えるきっかけになったという研修生を多く見えました。一歩踏み出すことにより、生命が喜び、自分を取り巻く状況が動き出します。

練成の再開は宇治別格本山にとって

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

M. S (60代) (女性)

友達と二人で浄心行の日の「一日講話」に参加出来ましたこと、心から嬉しく思っています。

今年六月、義父が亡くなりました。奇しくも私の母と同じ祥月命日となりま

した。義父とは十三年余りの同居でした。様々な出来事がありました。悪口など言われない優しい方で、すべてを笑い話にしてしまうような私には最高の舅でした。

さびしい気持ちはまだ残る中、今日の講話の中で榎本講師が「人間の死と病気は関係ない」と話されハツとしま

大きな一歩でした。その一歩から多くの喜びが生まれました。その喜びはほとんどん広がり、それぞれがコロナ禍で培ってきたものも活きてきて、生長の家の運動にも繋がっていくものと思います。『生命の実相』七巻の中にある「思い切つて立ち上げられ、道はそこから開けていく」という言葉のように。

今年二月からは、短期練成会が毎月開催される予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



した。帰宅して主人と話しているうちに、何故かストンと心に落ちました。「罪も病も死もない」と何度お聖経を読んでも解かったような解らないような感じでありましたが、何故か「そのままよいんだよ」という気持ちにならせていただきました。

清水講師の講話では、(7頁に続く)

1月【ご先祖と共に喜びの一日講話プログラム】〈会場：大講堂〉

聴講希望者は、三密を避け感染防止対策を行った上、40名まで参加できます。

日付・曜日	日付・曜日	時間	講話 及び 行	講師	テキスト
13日 土	幸福と平和は万物との調和の中に	10:20~11:05	開会の祈り・みんな一つの生命(いのち)	根本 一子	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		11:15~12:00	和解とは感謝であり、喜びである	阿部 秀輝	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	高 千穂	
		13:15~14:00	自己の限界を破ったとき、幸せが訪れる	小野 大作	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		14:15~15:00	全ての生命に祝福礼拝 ～神・自然・人間の大調和に向けて～	清水 志郎	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		15:00~15:35	「四無量心を観ずる神想観」実修・閉会の祈り	清水 志郎	
14日 日	輝く未来が待っている	10:20~11:05	開会の祈り・人間神の子本来無限力	岡田 浩二	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		11:15~12:00	劣等感を打ち破れ!	千羽 真平	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	千羽 粽子	
		13:15~14:00	人はいつからでも変わる	新宮 一	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		14:15~15:00	輝く未来が待っている	根本 一子	「生長の歌ってどんな教え?」「智慧と愛のメッセージ」
		15:00~15:35	「感謝講行」実修・閉会の祈り	根本 一子	
20日 土	「浄心行」	10:20~11:05	開会の祈り・光り輝く神の子のあなた	清水 志郎	「人類同胞大調和六章経」「如意自在の生活365章」
		11:15~12:00	旧我の否定と真我の自覚～浄心行の意義・説明～	千羽 真平	「新しい文明を築こう・中巻」
		12:00~13:15	昼食・休憩・浄心行用紙記載		昼食希望の方はご予約ください
		13:15~14:00	父母の愛に導かれて	根本 一子	「人類同胞大調和六章経」「如意自在の生活365章」
		14:10~15:25	「浄心行」・閉会の祈り	岡田 浩二	
21日 土	運命は変えられる	10:20~11:05	開会の祈り・あなたは運命の主人公	岡田 浩二	「人類同胞大調和六章経」「如意自在の生活365章」
		11:15~12:00	自己を劣等視するな、神の子ではないか!	阿部 秀輝	「人類同胞大調和六章経」「如意自在の生活365章」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	藤本 和博	
		13:15~14:00	自分が変われば世界が変わる	岡田 伊都子	「人類同胞大調和六章経」「如意自在の生活365章」
		14:15~15:00	行く先はただ「光」のみ	清水 志郎	「人類同胞大調和六章経」「如意自在の生活365章」
		15:00~15:35	「自己礼拝の神想観」実修・閉会の祈り	清水 志郎	
27日 土	祈り合いの神想観	10:20~11:05	開会の祈り・ただ“神”と“神の子”のみの世界	清水 志郎	「合本讃歌」「夢の地平線」
		11:15~12:00	幸福はすぐそこに	根本 一子	「合本讃歌」「夢の地平線」
		12:00~13:15	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	岡田 多美子	
		13:15~14:00	常に祈りと共に	岡田 浩二	「合本讃歌」「夢の地平線」
		14:15~15:00	真の祈りは必ず叶えられる	岡田 伊都子	「合本讃歌」「夢の地平線」
		15:00~15:35	「祈り合いの神想観」実修・閉会の祈り	岡田 伊都子	
28日 日	生長の家の喜びの生活	10:20~11:05	開会の祈り・あなたは神の子、光を見よ!	根本 一子	「合本讃歌」「夢の地平線」
		11:15~12:00	和顔・愛語・讃嘆で生きよう	鶴岡 俊光	「合本讃歌」「夢の地平線」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	愛することから幸せが始まる	清水 志郎	「合本讃歌」「夢の地平線」
		14:00~14:45	神に感謝して生きる	岡田 浩二	「合本讃歌」「夢の地平線」
		14:45~15:20	「如意宝珠観」・閉会の祈り	岡田 浩二	

◆ 会場内での注意事項

・ 座席はソーシャルディスタンスを保っておりますので、椅子の移動はご遠慮ください。 ・ 至近距離、大声での会話はしないでください。

◆ 食堂使用時の注意事項

・ マイ箸・マイボトルをご持参ください。 ・ 1テーブルに1名ずつ座り、同方向を向いて食事をしてください。



会場での講話聴講にぜひお越しください

※参加人数は先着40名までとなっております。

◆お申し込み方法（締切：参加前日まで）

- ・練成部へのお電話(0774-21-2153)にて名前・県名・電話番号・参加希望日等を伝えていただくか、申込フォーム(Facebook及びホームページ、右のQRコードから入れます)にて、必要事項を入力してお申し込みください。

※参加申し込みは参加前日までのべ切となっております。

◆奉納金（昼食代は別途要・ご随意）

大人・・・1,500円／子供(3歳～12歳)・・・750円

◆以下の症状に該当する方は参加不可となります

体温37.0度以上の方、咳が出る等体調不良の方

※受付で検温を実施いたします

◆参加に当たっての主な注意事項

- ・本山内ではマスク着用を推奨しております。
- ・トイレ使用後は石鹸で手洗いをしてください。
- ・受付、会場、食堂、トイレ等の出入りの際は、手のアルコール消毒をしてください。
- ・ソーシャルディスタンス(約2m)を守り、握手やハグ等の身体的接触は避けてください。



申込フォーム
QRコード



★土日講話参加者の宿泊を受付いたします

◆受付対象者

- ・土日両日参加し、全講話を受講予定の方 ※近隣にお住いの方にも宿泊できます

◆料金

4,500円＋土曜日の昼食代(御随意)

(4,500円の内訳は《講話参加費2日分＝3,000円》＋《参籠費(1泊食事付)＝1,500円》です)

◆申し込み方法等

- ・宿泊2日前の木曜日の17時までに、お電話（練成部：0774-21-2153）により予約手続きをしてください。
- ・土曜日の夜一泊のみ《金曜日からの宿泊はできません。12月23日(土)の宿泊も参籠費4,000円で受付いたします(21日(木)17時締め切りとなります)》
- ・その他詳細につきましては、ホームページまたは右のQRコードより「宿泊案内手引き」をご覧ください。

※ご相談がありましたら練成部までご連絡ください

★講話参加の際に電車を利用される方に向けまして、京阪宇治駅とJR宇治駅に出迎えバスを手配いたします。

- ・出発時間：京阪宇治駅9：45発、JR宇治駅9：55発
- ・集合場所：各駅ロータリー



(運転手が「生長の家」のプラカードを持って立っています)

となっております、出迎えは上記時間の1回のみであり、各駅時間となりましたら出発いたします。希望の方は出発時間までに集合場所に来ていただくようお願いいたします。

(※道路の混雑具合等でバスが時間より遅れる可能性もございます。ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。)

【宇治別格本山 第609回 神性開発 短期練成会 プログラム】会場:大講堂

2/2 (金)	2/3 (土)	2/4 (日)	
<p>●日帰り参加のお申し込みは、参加前日の17時まで ●宿泊のお申し込みは、2月1日(木)17時まで</p> <p>※当日の都合で増えたり減ったりする人数を制限させていただきます。</p> <p>お申し込みは、9時20分～17時の間、お電話(練成部 033-711-1111)または、お申し込みのお願い。にてお願い致します。</p> <p>※当日の都合で増えたり減ったりする人数を制限させていただきます。</p> <p>京阪宇治駅とJR宇治駅に出迎えるバスを手配いたします。 ◇昼食前の ・京阪宇治駅 11:45発 ・JR宇治駅 11:55発 ◇練成開始前の ・京阪宇治駅 12:45発 ・JR宇治駅 12:58発 に各駅2回ずつ出迎えます。 集合場所:各駅ロータリー(運転手が「生長の家」のプラカードを持っています) ※昼食は、宇治別格本山でお待ちいただけます。(食費11:30～13:00)</p>	<p>4:45 起床</p> <p>5:05 早朝行事 先導・未定 聖経『甘露の法雨』 『日々の新り』『聖歌歌詞集』</p> <p>6:30 感謝行(15分)</p> <p>6:45 朝食・休憩 (食費は6:45～7:30)</p> <p>7:55 聖歌・笑い</p> <p>8:00 「人類同胞大調和六章経」読誦 瀧水 志郎</p> <p>8:20 講話 善い言葉が、善い人生を創る 榎本 一子 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365章』</p> <p>9:10 「実相円満講行」実修 榎本 一子</p> <p>9:30 休憩・バスで幽斎殿へ移動</p> <p>10:00 「入龍宮幽斎殿における神想観」実修 岡部 秀雄</p> <p>10:30 講話(幽斎殿) 神慮への道 岡部 秀雄 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365章』</p> <p>11:30 バスで新練成道場へ移動・休憩</p> <p>12:00 昼食休憩</p> <p>12:55 聖歌・笑い</p> <p>13:00 先祖供養説明及び霊牌記載 飯部 信雄</p> <p>13:30 体験談 岡田 多美子</p> <p>13:45 講話 人は生まれ変わる ～浄心行の意義・説明～ 岡田 浩二 『新しい文明を築こう・中巻』</p> <p>14:45 浄心行用紙記載 聖経読誦 岡田 浩二</p> <p>15:15 休憩・大拝殿へ移動</p> <p>15:30 「先祖・流産児供養祭」 聖経『天使の言葉』 『聖歌歌詞集』 会場:大拝殿</p> <p>16:30 夕食・入浴休憩</p> <p>18:30 講話 父母の愛に導かれて 小野 大作 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365章』</p> <p>19:20 会場準備</p> <p>19:30 「浄心行」 岡田 浩二 聖経『甘露の法雨』 『万物調和六章経』 『聖歌歌詞集』</p> <p>20:40 就寝準備</p> <p>22:00 消灯</p>	<p>4:45 起床</p> <p>5:05 早朝行事 先導・未定 聖経『甘露の法雨』 『日々の新り』『聖歌歌詞集』</p> <p>6:30 感謝行(15分)</p> <p>6:45 朝食・休憩 (食費は6:45～7:30)</p> <p>7:55 聖歌・笑い</p> <p>8:00 終本「大自然讃歌」読誦 岡田 浩二</p> <p>8:20 講話 光を世界に届けよう ～神・自然・人間の調和に向けて～ 瀧水 志郎 『二百字日記1』『美しく生きよう』</p> <p>9:10 休憩・笑い</p> <p>9:20 体験談 榎本 和博</p> <p>9:35 講話 祈りは必ず叶えられる 榎本 一子 『二百字日記1』『美しく生きよう』</p> <p>10:25 「祈り合いの神想観」実修 榎本 一子</p> <p>10:55 休憩・笑い</p> <p>11:10 体験決意発表</p> <p>11:30 結語講話 真理と生活 堀端 若樹 『二百字日記1』 『神と信に生きる真理365章』</p> <p>12:20 閉会式・使命行進曲 堀端 若樹 終了予定</p> <p>昼食をお召し上がりいただけます 夕食後に、JR宇治駅と京阪宇治駅までの送りのバスを1手配いたします。</p> <p>《テキスト》 ・二百字日記1 ・日々の新り ・夢の地平線 ・新しい文明を築こう・中巻 ・神と信に生きる真理365章 ・美しく生きよう</p> <p>《行事で使用するもの》 ・聖経四部経 〔聖経甘露の法雨・聖経天使の言葉・聖経続々 甘露の法雨・聖使命菩薩讃偈〕 ・合本讃歌〔観世音菩薩讃歌・大自然讃歌〕 ・人類同胞大調和六章経 ・聖歌歌詞集</p> <p>《持ち物》 ・洗面用具(シャンプーはありません。ご持参ください) ・筆記用具 ・善巻え ・ハンカチ ・マイ箸、マイボトル ※売店と自動販売機は撤去いたしましたのでご注意ください</p>	
	11:00より受付を開始いたします	12:55 聖歌・笑い	12:20 閉会式・使命行進曲 堀端 若樹
	13:00 聖経「天使の言葉」読誦 榎本 一子	13:00 先祖供養説明及び霊牌記載 飯部 信雄	12:30 終了予定
	13:20 閉会式・挨拶 堀端 若樹	13:30 体験談 岡田 多美子	昼食後に、JR宇治駅と京阪宇治駅までの送りのバスを1手配いたします。
	13:30 講話 実相と現象 岡田 浩二 『日々の新り』	13:45 講話 人は生まれ変わる ～浄心行の意義・説明～ 岡田 浩二 『新しい文明を築こう・中巻』	
	14:20 休憩・笑い	14:45 浄心行用紙記載 聖経読誦 岡田 浩二	《テキスト》 ・二百字日記1 ・日々の新り ・夢の地平線 ・新しい文明を築こう・中巻 ・神と信に生きる真理365章 ・美しく生きよう
	14:30 神想観は素晴らしい 瀧水 志郎 『日々の新り』 ・神想観のプリントを使用	15:15 休憩・大拝殿へ移動	《行事で使用するもの》 ・聖経四部経 〔聖経甘露の法雨・聖経天使の言葉・聖経続々 甘露の法雨・聖使命菩薩讃偈〕 ・合本讃歌〔観世音菩薩讃歌・大自然讃歌〕 ・人類同胞大調和六章経 ・聖歌歌詞集
	15:30 休憩・笑い	15:30 「先祖・流産児供養祭」 聖経『天使の言葉』 『聖歌歌詞集』 会場:大拝殿	
	15:40 喜びの座談会(Q&A)	16:30 夕食・入浴休憩	
	16:40 夕食・入浴休憩	18:30 講話 父母の愛に導かれて 小野 大作 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365章』	《持ち物》 ・洗面用具(シャンプーはありません。ご持参ください) ・筆記用具 ・善巻え ・ハンカチ ・マイ箸、マイボトル ※売店と自動販売機は撤去いたしましたのでご注意ください
	18:25 聖歌・笑い	19:20 会場準備	
	18:30 「観世音菩薩讃歌」読誦 瀧水 志郎	19:30 「浄心行」 岡田 浩二 聖経『甘露の法雨』 『万物調和六章経』 『聖歌歌詞集』	
	19:00 講話 あなたは運命の主人公 鶴岡 俊光 『日々の新り』	20:40 就寝準備	
	20:00 「浄心行」実修 鶴岡 俊光	22:00 消灯	
	20:30 就寝準備		
22:00 消灯			

(3頁から続く)「心の解放と光が百で、すべてが光で、全てが善で、魂は無限に向上する」と教えていただいて、心が深く喜んでおります。

また、「生長の家の大神、神の子なる私を通して、世界平和を実現せしめ給え」という祈りは心に響きました。

私も更なる魂の向上を目指して、人類光明化、世界平和に向けて精進します。有難うございました。

D. A (60代) (男性)

清水講師の講話で、『光明法語』から引用されて、神・独在と欺く心のお話がありました。

神様と自分を分ける世界…これが欺く心の始まりとの話。今まででこの切り口の話は初めてでした。なるほどと納得しました。神様を外して自己を考えると、何がどうなるかと不安と恐怖に襲われて神様が見えなくなる。それが不幸の始まりであると理解出来ました。神は独在であるから、現象に現れているイヤなこと、悪いことには引つ

掛からないこと、終わっていつている姿と感謝することが神の子の本来の自分に戻ることだと教えていただきました。

千羽講師は「神癒への道」という演題で話され、神癒を受けるには自己が神の子で完全円満であることを自覚して悦ぶことが大切であると、神癒はその時自ら願われると理解しました。

私は今、長年従事した会社を定年退職するところで六十五歳の少し前ですが、自分はまだまだ働けると自覚して就職活動をしておりますが、中々自分に合う仕事が見つかりません。六十五歳は世間では不用とされているのかと思えてきたりしていましたが、仕事が無いのではない、自分が与えられている世界を覗いていなかっただけだ」と気づかされま



した。仕事は必ず与えられると確信を持ちました。
鵜飼講師

は「感謝が全てを癒す、神の歎喜の発露が人間である。人間が悦べば、神が喜び給う。自分の生命に感謝することが神癒への道なのである」という話をされました。榎本講師は「人間の本当のスガタは万徳円満であると聞いても、罪の意識があると償いの人生になっていることが多い。しかし、神は人間に償いや償いを求めたりはされていない。神は人間に何が必要か既に知っていてくださる。だから喜んで神からの恵みを待てばよい」と話されていて、心安の心が大切と理解しました。

定年の日まで、どんな職業・職場に導かれるか楽しみに就活して参ります。全肯定が大切ですね。有難うございました。

R. R (50代) (女性)

九月の中頃、定期的に毎年受けている大腸がん検診を受けたところ、陽性という結果が出ました。

お医者様から大腸内視鏡検査を受けてくださいと言われました。とても動



何かあったら宇治に行くことが出来ることに心から感謝いたします。

揺して、不安と恐怖でいっぱいになりました。平常心でいることが難しかったので、「宇治の「一日講話」を受けよう。そして、宝蔵神社での祥月命日供養祭に参列しよう」と思いました。

十月に入り、「ご先祖と共に悦びの一日講話」に参加させていただき、祥月命日供養祭にも参列することが出来ました。講話を聴き、供養祭に出たからは心が落ち着き、「大丈夫！何かあってもしっかり出来るよ！」と自分に言い聞かせながら家に帰りました。

それから内視鏡検査を受けました。結果は、「心配するようなものは何もありません」と言われ、本当にうれしかったです。よかったです。今日はお礼参りのつもりで来ました。

H. F

(50代)女性

沢山の現象を挿んで前に進めず、何とかしようと迷っていました。「宇治に行きたい！」と願いつつ、忙しくして叶わずにいましたがやっと来れて泊りで参加する事が出来ました。大いなる光に包まれて、大安心の心で神の子の生命が喜んでくれるようです。

現象に現れている病は消えても消えなくとも神の完全な生命を頂いていて既に幸せに満たされて、生かされて、尊い有難い私でした。

そのまま素晴らしい神の子である。何かを付け加えたり、足そうとしないでいい。繰り返して「今幸せです」「今神の子です」を唱えます。

一泊させていただいたお陰で、母とゆっくりお風呂に入り背中を流したり、ゆったりおしゃべりしたりして心に残る温かい時間を過ごさせていただけました。

現象に現れている病気は消えていく過去の姿として、心に掴まず、感謝し

◆ 1月 宇治別格本山で行われる行事 ◆

- 1日(月)11:00～ 宝蔵神社新年祭
- 11日(木)10:00～ 自然災害並びに
世界規模感染症慰霊塔月次祭
- 13日(土)10:00～ 宝蔵神社月次祭
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭
- 19日(金)10:00～ 末一稻荷神社月次祭、精霊招魂神社月次祭

※すべて無参列となっております。ご参列はご遠慮ください。
※1月は「先祖・流産児供養祭」は開催されません。



て、否定的な思いや暗い心が現れた時、全力で否定し、変わらぬ光を観るようになります。

J. H (50代)〈男性〉

「そのまま素晴らしい神の子である」という話を繰り返し聴いて、自分に自信が持てました。常に何か自分に不足しているものがあると思いつながら生きていきましたが、「そのままでよい」ということで心が楽になり、明るくなりました。「我自身が神の子だ、光だ」と常に心にとめて生きていきます。

結婚についても、生長の家を伝えたことが原因で交際を終了せざるを得なくなりましたが、その経験もマイナスではなく、自分にとって必要なことであつたと学びました。積極的に生きていきます。

K. T (60代)〈女性〉

「ぞうだった！ぞうだった！」と私の心にピツタリのお答えを頂き、前から

光を、後ろから後押しを頂いた感じにして、私の心は喜びに満たされています。何かをして神の子になるのではなく、私は神の子で既に悦びそのものであつたこと、何か嬉しくなりました。榎本講師に自分の担当している白鳩会の対策部のことをお訊きして、やっ

宇治別格本山 研修生感想文

A. U (10代)〈男性〉

今日の「一日講話」を通して、自分の立場、相手の立場があるという二元論に陥っていた自分に気づかされました。そして、それは対立するのが当たり前と思っていました。神の子の自分を忘れて、物質的、肉体的不足を思い、捉われる事が毎日のようにあります。そうかと思うと本山員の方たちに拜まれ愛を与えていただき、時にはほめていただき、「自分はすべて与えられている。救われ済みの神の子だ！」と嬉し

ぱり光を観ることが出来ました。うれしいです。有難うございました。幽斎殿にお参りして、短い時間でしたが神想観をさせて頂き、涙が出ました。感動のひと時でした。来て本当によかったです。有難うございました。

くなる時がある。このサイクルを繰り返している気がします。

しかし、その喜びを伴った感動は研修生になってからは大きくなるばかりです。退歩しているようにみえても、魂は生長し続けている。史上最高の自分を毎日記録し続けていると思えるようになりました。「引きこもっていた時



も、現象的に何が起こつていようと魂は生長し必ず善くなるしか



ない。神に導かれ、喜ばれ、生かされ、愛され、護られ、既に救われている。ここが天国浄土、喜ぶしかない、感謝するしかない」という心になるときが増えてきました。

神様は自分に無限力を表現させていただける舞台を与えてくださり、父は「お父さん」という役を演じてくださり、今、研修を担当してくださる清水講師も岡田浩二講師もそれぞれの役を演じてくださり、目の前に現れている人達は全て自分を導くために現れてくださっていることを、今日の「祈り合いの神想観」の実修で感じました。

そして相手を想うことの喜び、みんなの幸せは自分の幸せであり、自分の幸せはみんなの幸せである。すべて一つの生命だという感動を味わいました。祈ることにこんなに感動したことは今までありません。祈ることの喜び、「祈

りなさい」と言われて仕方なくやっていただけはわか
らなかつた感

動を体感しました。

まだまだ未熟にも程がある自分ですが、真理を知り、行じ、生きる。これが続いていけば、また続けていく事で仏陀となるという『聖使命菩薩讃偈』の言葉の意味が少しわかつた気がします。

S. B (60代)〈女性〉

第一講話の榎本講師のお話を聴いて私も春風が吹いているような温かい家庭を作りたいと思いました。お互いを認め合い、尊敬し、許し合い、拝み合う家庭、私は穏やかでいつも「人間神の子で困ることはない」と言っているような。今日心で決めたから、この願いは既に成就している。榎本講師は「今よりもっと良いことになるために今のこと起こっているのです」と言われました。この言葉を念じ続けます。

以前教えていただいた、鏡を見るたびに、そして気が付いたときに「私は夫に愛されている」（にっこり）を実践しております。

子供の頃からいじけていて自信が持

てなかつた私ですが、最近やっと「既に分は神の子で、神様に愛されている嬉しい」という心境になれました。今日から、私は百点満点！完璧！」と唱えたいと思います。

千羽講師の体験談を聴いていると、つい千羽講師のお母さまの心境と重なり、わが娘もいつか千羽講師のような幸せな結婚生活を送っていると信じられる気がします。勇気が出ます。今、娘に起こっていることも、幸せな結婚が既に実現しているからである！「今、実相は完全円満」を信じて喜ぶ…素晴らしいです。若い千羽ご夫婦を見ていると私までがにっこり温かい気持ちになります。

清水講師は、「私は感謝されている愛されている、尊敬されている」「光が出てくる、光の展開が自分自身である」などの言葉の習慣化が大切と話されました。娘が悩む姿を現して見せてくれるおかげで、言葉で光を観る練習を積み重ねる毎日をごさせていただいています。この練習が出来る機会を与えてくださっていることに感謝です。

私の愛をますます生長させてくださる神様の愛の展開だったと思わせていただいています。

四月に短期間研修生を体験させていただいて以来ずっと「神様に、父母に、夫に愛されている」を唱え続けておりましたら、私自身とても明るくなり、楽



〈神癒祈願のお礼状〉

孫が試験に合格

S. I (女性)

いつもお導きお護りくださいますことを感謝申し上げます。今日まで私たちが家族の為に、尊い祈りを注ぎ給いまして、篤くお礼を申し上げます。お陰様で家族一同元気に今日を迎えさせていただきました。

この度孫は「管理者等資格試験」に

しくなってきました。

「祈り合いの神想観」に祈っていただく方に生まれましたが、招神歌かみもつたの直前に目の前がパッと光りました。祈ってくださった方の祈りを素直に受けられた！と感じました。有難うございました。

有難く合格させていただきました。本人は一年越しに平素の業務に励みながら、その試験に向かって精進努力してきたようです。本人は落ちたくないと思張っていました。祈ってくださいのだから…と私は神様に全托して、自分のなすべきことを少しずつ励んでいました。本当に際どいところを合格させていただきました。孫の為に祈ってください、誠にありがとうございました。

本人はこれから合格させてもらったこと、増上慢に陥ることなく物事を謙虚に受け止め、精進致します。これからもよろしくご指導お願いします。ありがとうございます。

新年祭時の

「神癒の社入龍宮幽斎殿行事」と「新春書初め」について

- ① 1月1日(元日)～3日迄、神想観実修(午前10時、午後1時)並びに書初め、写経実修は行いません。
- ② 幽斎殿二階のお参りはできません。静かにお祈りください。
- ③ 1月4日より神想観実修、書初め・写経実修ができます。

◎書初め受付期間 令和5年12月1日～同6年1月31日迄

◎奉納金 200円以上(大人・子ども共通)

◎現金書留、または郵便為替にてお申し込みください。

詳しくは写経課迄、お問い合わせください。

◆祈願部写経課 電話 0774-21-2305 FAX 0774-21-2167

第50回末一稻荷神社 初午祭

2月12日(日)午前11時～12時 (※無参列)



教勢発展・繁栄祈願
申込受付中!!

「教勢発展・繁栄祈願申込書」にご記入いただき、宇治別格本山**祭司部宛**に郵送にてお申し込みください。初午祭にて祝福祈念の後、翌年まで一年間、末一稻荷神社に奉安し、毎日聖經「甘露の法雨」を誦読し、祝福祈念いたします。(同申込書はホームページよりダウンロードできます)

【縮切】

郵送は1週間前までとなります。

※縮切以降に到着した分は、毎月19日に執り行われる末一稻荷神社月次祭にて奉安いたします。



★オンライン個人指導(無料)のご案内★

時間：9:20～12:00、13:00～16:00

※お申し込みにより日程を調整いたします

担当講師：清水志郎本部講師
榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補

使用媒体：Zoomまたはメッセージ
お申し込み方法：

メールアドレス rensei@uji-sni.jp、またはFacebookページ「生長の家宇治別格本山」までメッセージをお願い致します。メッセージにお名前・電話番号・ご希望日時を記入し、ご送信ください。担当講師等の連絡事項を返信いたします。



令和5年2月2日(金)～2月4日(日)の短期練成会開催(詳細は別頁のプログラムに記載)が決定しております。他の週の土日は一日講話を開催いたします。プログラム等の詳細につきましては、ホームページまたはFacebookで確認するか、お電話でお問い合わせください。



宗教学 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。